

エアーシングファン

形名	タイプ
AS-407SA	コンパクトタイプ
AS-412SA	スリムタイプ
AS-1315SA	パワフルタイプ

据付工事・取扱説明書

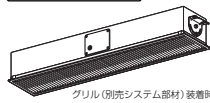
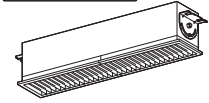
販売店・工事店さま用／お客さま用

本製品は三菱業務用送風機エアーシングファンです。

AS-407SA

AS-412SA

AS-1315SA



グリル(別売システム部材)装着時

グリル(別売システム部材)装着時

お客さまへ

ご使用前の必ずこの説明書をお読みに
なり、正しく安全にお使いください。
なお、添付別紙の「三菱業務用/産業用
換気送風機 修理窓口」ご相談窓口のこ
え内」とともに大切に保管し、必要な
ときお読みください。

据付工事を始める前に必ずこの説明書をお読みに
なり、正しく安全に据付けてください。
据付工事は販売店さま、または専門の工事店
さまが実施してください。
■この製品は単相100V 50/60Hz用です。電源を
確認してください。
■この製品には、システム部材(別売)のコン
トロールスイッチが必要ですので、別途ご
用意ください。
■この製品は、包装状態においてケーシング
変形防止用保護パッド(ダンボール)が取
付けられています。パッドを取付けた状態
で設置作業を行い、グリル取付の際には
はずしてください。

工事店さまへ

1.安全のために必ず守ること

警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

注意 誤った取扱いをしたときに傷害または建物・機械などの損害に結びつく

お客さまへ

警告

- ガス漏れに気付いたときは、スイッチの入・切をしない
爆発・引火の原因。
- 製品を水につけたり、水をかけたりしない
ショートや感電の原因。
- どのような場合でも改造はしない
火災・感電・けがの原因。
修理はお買い上げの販売店または当社のお問合せ窓口
にご相談ください。
- 運転中は危険ですから、吸出口の
中可動部に指や物を入れない
けがの原因。
- 電源が入ったままで運転が停
止しているときは、製品には
絶対にふれない
突然運転し始めてけがや感電
の原因。
- お手入れの際は必ず分電盤の
ブレーカを切る
感電・けがの原因。
- 定格電圧・定格周波数で使用する
火災・感電の原因。

注意

- 本体に異常な振動が発生した
場合は使用しない
本体・部品の落下によりけが
の原因。
- 本体にぶらさがらない
落下によりけがの原因。
- 爆発性の粉塵やガスの発生す
る場所または発生するおそれ
のある場所では使用しない
爆発や火災の原因。
- お手入れの際は手袋を着用す
る着用しないけがの原因。
- お手入れの後の部品の取付け
は確実に行う
落下によりけがの原因。
- 長時間ご使用にならないとき
は、必ず分電盤のブレーカを
切る
絶縁劣化による感電や漏電火
災の原因。

工事店さまへ

警告

- 燃焼機器の燃焼部に風を直接当てない
不完全燃焼したり、炎が消え一酸化炭素中毒を起こす原因。
- ガス漏れに気付いたときは、スイッチの入・切をしない
爆発・引火の原因。
- 製品を水につけたり、水をかけたりしない
ショート・感電の原因。
- 改造や必要以上の分解はしない
火災・感電・けがの原因。
分解・修理はお買い上げの販売店または当社のお問合せ窓
口にご相談ください。
- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木
造の造作部に据付ける場合、ボルトとメタルラス、ワイヤ
ラス、金属板とが電気的に接触しないように据付ける
漏電した場合発火の原因。
- 定格電圧・定格周波数で使用する
火災・感電の原因。

注意

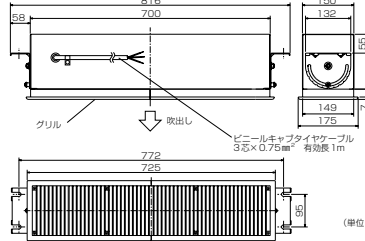
- 浴室など湿気の多い場所(湿度90%以上)には絶対に据付け
ない
感電・火災の原因。
- 爆発性の粉塵やガスの発生する場所または発生するおそれ
のある場所には据付けない
爆発や火災の原因。
- 壁から出ている埋込みボルトには据付けない
振動により製品や建物の破損の原因。
- いかなる据付面に対してもモータ軸水平以外の据付けは
ない
振動により製品や建物の破損の原因。
- 角度調整の際、中央の戻り止めナットははずさない
落下によりけがの原因。
- 本体の据付工事は十分強度のある所を選んで確実に行
う
落下によりけがの原因。
- 埋込みボルト(吊りボルト)・ナット・ワッシャーは指定の
ものを使う
落下の原因。
- 各部品は確実に取付ける
落下によりけがをする原因。
- 電気工事は必ず資格者である電気工事が内線規程や電
気設備技術基準に従って行う。絶対に「手すり接続」は
しない。又、電源電線の結線部分は JIS C 8340 の「電
線管用金属ボックス」内で行う。
接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因。
- 据付けの際は手袋を着用す
るけがの原因。
- 左右同じ据付角度になるよう、据付板の切欠部を確認
する
左右の角度に違いがあると、本体がねじれて振動が発
生し、異常音の原因。

お願い

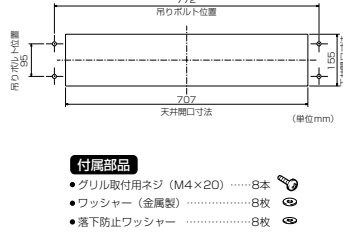
- 据付場所が悪いと故障の原因になります。次のような場所には据付け
ないでください。
○0℃以下もしくは45℃以上になる場所
● 屋外
● 酸性、アルカリ性ガスの発生、流入する場所
● 可燃性ガスの発生、流入、滞留、漏れのある場所
● 油煙や蒸気が多い場所
● 繊維工場、製陶工場など多量の綿ほこりや砂塵、粉塵の発生する場所
- この製品は高所据付用です。危険防止のため、人が容易に触れること
ができる場所には据付けないでください。
- 配線系統にモータブレーカなどを使用してください。

2.外形寸法図

AS-407SA

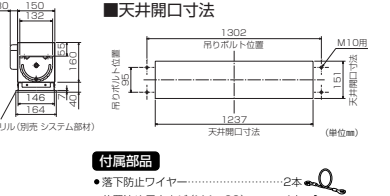
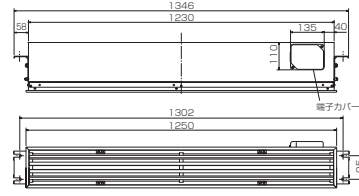


天井開口寸法

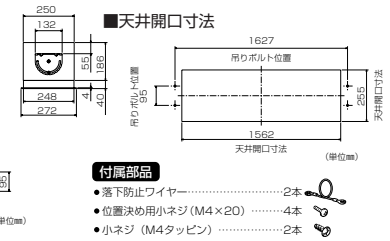
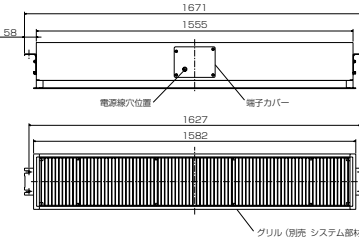


- 付属部品**
- グリル取付用ネジ (M4×20) 8本
 - ワッシャー (金属製) 8枚
 - 落下防止ワッシャー 8枚

AS-412SA



AS-1315SA



3.据付方法

本体の据付工事は、振動のない十分強度のあるところを選んで確実に行ってください。
取付板の角度を調節することで、モータ軸水平方向に対して天井角度に制限なく据付け可能です。

■お客さま手配部品 (市販品)
本体据付用に、吊りボルト (M8またはM10) とナット、ワッシャー (外径21mm以上) をご用意ください。

■据付例 (吊りボルト、スライドレールはお客さま手配部品です) (単位: mm)

	天井埋込据付の場合	斜め天井据付の場合	壁据付の場合	露出据付の場合	システム天井据付の場合
AS-407SA					システム天井には据付けできません。
AS-412SA					グリル(別売システム部材)・本機取付用センターナット(130mm)のシステム天井には据付けできません。
AS-1315SA					システム天井には据付けできません。

● 天井埋込の場合は、天井面との高さに注意して設置してください。

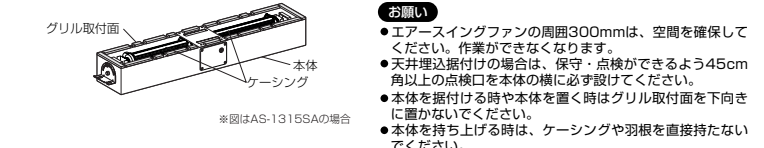
注意

- いかなる据付面に対してもモータ軸水平以外の据付けはしない
振動により製品や建物の破損の原因。
- 埋込みボルト(吊りボルト)・ナット・ワッシャーは指定のものを使う
落下の原因。
- 埋込みボルト(吊りボルト)は十分強度のある天井面に固定し壁面には固定しない
振動により製品や建物の破損の原因。

1.据付前の準備をする

全機種共通

- 外形寸法図と据付例を参照し、強度のある据付場所に市販の吊りボルト (M8またはM10) を長さ800mmを超えないように埋め込む。
お願い
● 吊りボルトは、振れ止め耐震支持部材に必ず補強を行なってください。
● 吊りボルトの長さが800mmを超える場合は、さらに防振金属等による防振対策を施してください。
● 吊りボルトの位置が、天井開口穴に対し片寄らないようにしてください。
● 斜め天井・壁据付の場合、スライドレール等を使用してください。位置調節が容易になります。
- あらかじめ吊りボルトに市販のワッシャー (外径21mm以上) ・ナット (M8またはM10) を取付ける。
お願い
● エアースイングファンの周囲300mmは、空間を確保してください。作業ができなくなります。
● 天井埋込据付の場合は、保守・点検ができるよう45cm以上の点検口を本体の横に必ず設けてください。
● 本体を据付ける時や本体を置く時はグリル取付面を下向きに置かないでください。
● 本体を持ち上げる時は、ケーシングや羽根を直接持たないでください。



注意

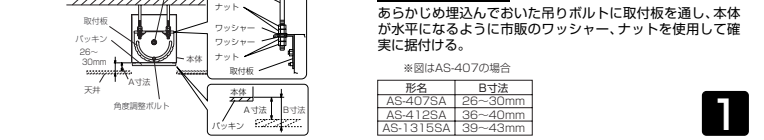
- 図中A寸法が右表以下となる場合、天井を貼る前に開口しておいてください。

形名	A寸法
AS-407SA	20mm
AS-412SA	30mm
AS-1315SA	20mm

- 首振り運転する場合、首振り方向の気流到達距離が左右で異なります。カタログ・納入仕様書で風速分布を確認の上据付方向を検討してください。

2.本体の据付け

天井埋込据付・露出据付 全機種共通

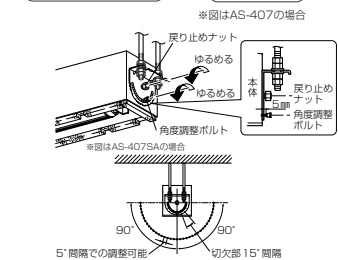
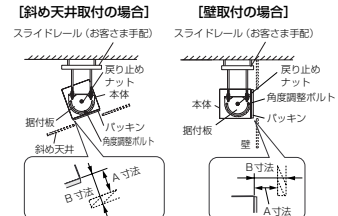


天井が平らな場合
あらかじめ埋込んておいた吊りボルトに取付板を通し、本体が水平になるように市販のワッシャー、ナットを使用して確実に据付ける。

※図はAS-407の場合

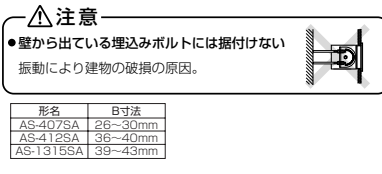
形名	B寸法
AS-407SA	26-30mm
AS-412SA	36-40mm
AS-1315SA	39-43mm

2. 本体の取り付け **天井埋込据付け・垂出据付け** つつき



天井面が斜めの場合・壁据付けの場合

斜め天井、壁に対して本体が平行になるように取付板の角度を調整し据付ける。



注意
●壁から出ている埋込みボルトには据付けけない
振動により建物の破損の原因。

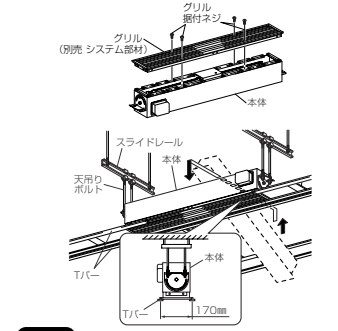
形名	B寸法
AS-407SA	26~30mm
AS-412SA	36~40mm
AS-1315SA	39~43mm

■角度調整方法
本体角度は水平から垂直まで5°おきに調整が可能です。

- 本体据付け後、戻り止めナットをゆるめ、角度調整ボルトを5mm程度出っ張るまでゆるめると本体が動く。
- 角度調整を行った後、左右の取付板の角度が同じになるように切欠部を目安として角度調整溝に角度調整ボルトを締め付け、戻り止めナットを締め付ける。

注意
●角度調整の際、中央の戻り止めナットははずさない
落下によりけがの原因。
●左右同じ角度になるよう、据付板の切欠部で確認する
左右の角度に違いがあると本体がねじれて、振動が発生し、異常音の原因。

システム天井の場合 (AS-412SAのみ)



お願い
●Tバーピッチ170mm以外のシステム天井には据付けられません。

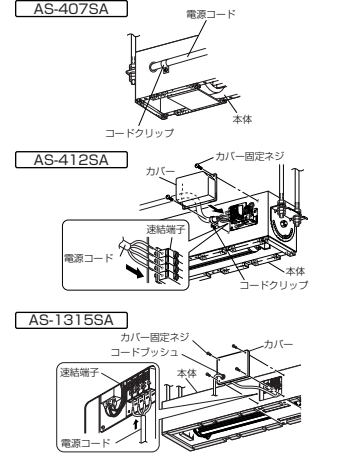
■新築の場合
1. グリル枠に、本体付属の位置決め用小ネジ (M4×20) を4か所締め付ける。このとき、グリル枠の片側2か所に落下防止ワイヤーを共締めする。(「5. グリルの取り付け」を参照)
2.)
3. グリル取付ネジでグリルを取付ける。
Tバーに製品重量がからないように、あらかじめ埋込んでおいた吊りボルトに取付板を通し、本体が水平になるように

■既築の場合
1. システム天井の蛍光灯を外し、照明器具を取りはずす。
2. グリルを据付けた本体を点検口から天井裏に挿入する。
3. 上記3と同様、確実に据付ける。

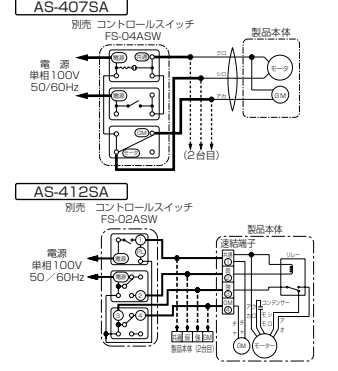
注意
●Tバーに製品重量がからないように据付ける
Tバーの破損の原因。
●Tバーとグリルの間に隙間をあけない
振動や異常音の原因。

3. 電気工事

警告
●定格電圧・定格周波数以外では使用しない
火災・感電の原因。
●漏電ブレーカを必ず設置する
感電やけがの原因。



■結線図
※図中の太線、破線部分は電気工事の資格を有する方に施工してください。



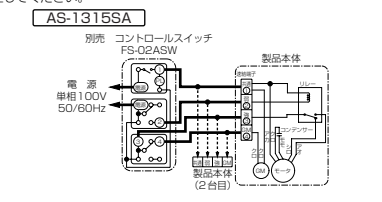
■本体電気配線 (結線をする)

AS-407SA
①結線図 (本体側面にも貼付) を参照して結線する。
●電源線は0.75mm²以上、複数台連動の場合は電流合計値にあった容量の電源コードで結線します。

AS-412SA
①カバー固定ネジ2本をはずし、カバーをはずす。
②結線図 (本体側面にも貼付) を参照して結線する。
●電源線 (単線φ1.6VVF) は先端10mm皮ムキして、電源用速結端子に確実に差し込みます。
③付属のコードクリップで電源線を固定する。
④カバーを元通りに取付ける。

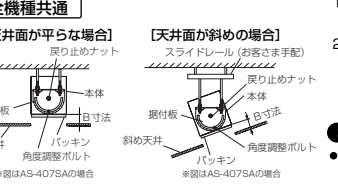
AS-1315SA
①カバー固定ネジ4本をはずし、カバーをはずす。
②カバーのコードフック部に電源線を通す。
③結線図 (カバー内側にも貼付) を参照して結線する。
●電源線 (単線φ1.6VVF) は先端10mm皮ムキして、電源用速結端子に確実に差し込みます。
④カバーを元通りに取付ける。

お願い
●モータの過負荷保護のため、モータブレーカまたは電磁開閉器 (電圧検知器+サーマルリレー) の過負荷保護装置を設置してください。過負荷保護装置は必ず機器1台ごとに設置してください。過負荷保護装置の選定は電流値の1.2~1.5倍程度を目安にしてください。



お願い
●床下3m程度の天井部に設置される場合は
付属の別売コントロールスイッチ用表示紙の
説明に従ってスイッチの表示を変更して
ください。(AS-1315SAのみ)

4. グリル据付けの準備をする



1. あらかじめはられた天井板に、外形寸法図と据付例を参照し、開口穴を開ける。
2. 天井から本体の距離 (B寸法) が下表の範囲になるよう吊りボルトの位置を調整し、本体が開口穴の中央になるようスライドレール等で調整する。

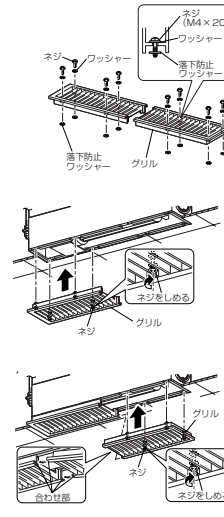
形名	天井と本体枠の距離 (B寸法)
AS-407SA	26~30mm
AS-412SA	36~40mm
AS-1315SA	39~43mm

お願い
●天井開口穴と本体の位置にずれがないことを確認してください。位置がずれた状態で無理にグリルを取付けないでください。

5. グリルの取り付け (一般天井の場合)

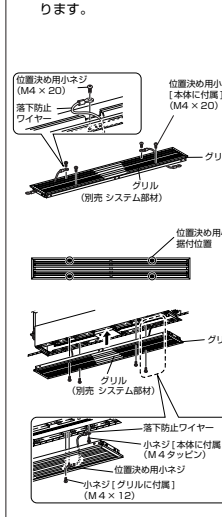
AS-407SA
1. グリルに、本体付属のグリル取付ネジ (M4×20)、落下防止フッシャー (作業中のネジ落下防止用)、フッシャー (金属製) を8か所取付ける。
2. ネジ (M4) を4か所締め付け、片側のグリルを本体に取付ける。
3. グリルのツマを合わせ、ネジ (M4) を4か所締め付けて、もう片側のグリルを本体に取付ける。

お願い
●グリルを本体に取付ける際、グリルが変形しないように注意してください。
●グリルを取付けるネジ (M4) は0.98N・m以下のトルクで締め付けてください。



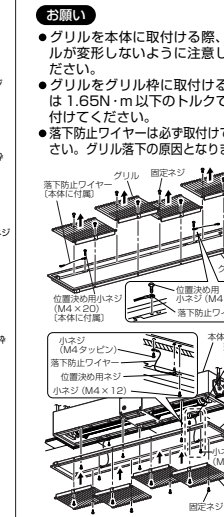
AS-412SA
1. グリル枠に、本体付属の位置決め用小ネジ (M4×20) を4か所締め付ける。このとき、グリル枠の片側2か所に落下防止ワイヤーを共締めする。
2. グリル枠に共締めされた落下防止ワイヤーを、本体付属の小ネジ (M4タッピン) で本体に締め付ける。
3. グリル枠に締め付けられた位置決め用小ネジを利用して、本体の取付穴の位置を合わせる。
4. グリルに付属の小ネジ (M4×12) を4か所締め付けて、グリルを本体に取付ける。

お願い
●落下防止ワイヤーは必ず取付けてください。グリル落下の原因となります。



AS-1315SA
1. グリル固定ネジをゆるめ、グリルをグリル枠から取りはずす。(グリル固定ネジはグリル1つにつき2か所計8か所)
2. グリル枠に、本体付属の位置決め用小ネジ (M4×20) を4か所締め付ける。このときグリル枠の片側2か所に落下防止ワイヤーを共締めする。
3. グリル枠に共締めされた落下防止ワイヤーを、本体付属の小ネジ (M4タッピン) で本体に締め付ける。
4. グリル枠に締め付けられた位置決め用小ネジを利用して、本体の取付穴の位置を合わせる。
5. グリルに付属の小ネジ (M4×12) を6か所締め付けて、グリル枠を本体に取付ける。
6. グリルをグリル枠に、1で取りはずしたグリル固定ネジで8か所締め付ける。

お願い
●グリルを本体に取付ける際、グリルが変形しないように注意してください。
●グリルをグリル枠に取付けるネジは1.65N・m以下のトルクで締め付けてください。
●落下防止ワイヤーは必ず取付けてください。グリル落下の原因となります。



4. 試運転 **工事店さまへ**

据付工事終了後、結線が間違っていないかを再度確認して、正常な運転ができるか、また本体の据付が確実で振動・異常音がないかを確認してください。不具合があったら必ず直してください。お客さま立ち会いで正しい使い方をご説明ください。

5. 使用方法 **お客さまへ**

使用方法についてはシステム部材 (別売) のコントロールスイッチの据付・取扱説明書を参照してください。

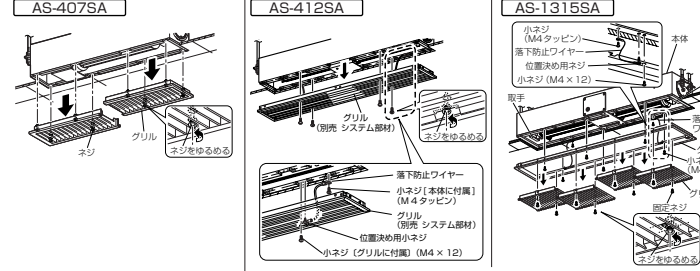
6. お手入れのしかた **お客さまへ**

製品が高いところ (約4~5m) に据付けられている場合は、必ず販売店へ依頼してください。比較的低いところ (約2~3m) に据付けられている場合は、両手で作業ができる安定した足場を設け、十分注意して行ってください。

警告
●お手入れの際は必ずが電盤のブレーカを切る
感電・けがの原因。

お願い
●お手入れに下記のものを使用しないでください。
シンナー・アルコール・ベンジンなどの溶剤や酸性またはアルカリ性や塩素系、相溶系などの植物系の洗剤。カビ取り剤、漂白剤、ナイロンたわし、研磨材や化学ぞうきん (変質・変色する原因になります)

グリル清掃のしかた
中性洗剤を湿した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないよう乾いた布でよくふき取ってください。
汚れのひどい場合は販売店に依頼して、グリル取付ネジをはずし、グリルをはずして清掃します。(システム天井の場合グリルの取りはずしができません。)
清掃終了後は、取りはずしと逆の順序で元通り取付けます。



7. アフターサービス **お客さまへ**

三菱エアー搬送ファンのアフターサービスは、お買い上げの販売店かお近くの「三菱業務用/産業用換気送風機 修理窓口」にご相談ください。
この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

■補修性能部品の保有期間
当社は、このエアー送風機の補修性能部品を製造打ち切り後、7年保有しています。
補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

8. 仕様 **工事店さまへ**

形名	電源	消費電力(W)		電流(A)		風量(m ³ /h)		騒音(dB)		起動電流(A)		質量(kg)	
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz		
AS-407SA	単相100V	強	14.5	15.5	0.1	0.1	145	165	29	34	0.15	0.14	7.8(グリル含む)
		弱	9.2	9.6	0.1	0.1	145	165	29	34	0.15	0.14	7.8(グリル含む)
AS-412SA	単相100V	強	14.5	15.5	0.15	0.16	290	340	32	37	0.28	0.27	11.8
		弱	13.5	13.5	0.14	0.14	230	210	29	29	0.21	0.19	17.5
AS-1315SA	単相100V	強	46.5	54.5	0.47	0.55	620	720	39.5	42.5	0.89	0.83	17.5
		弱	19	18	0.21	0.2	200	175	25	25	0.3	0.28	(グリル含まない)

※電圧特性値、騒音特性値はグリル (AS-407SA以外) は別売 システム部材) を付けた場合の値です。
※風量はグリルを取付けない状態でのオフフィッシュチャン法による静圧0Pa時の値です。
※騒音値は吹出口直下2.6m (AS-1315SAは3.5m) 地点のAスポットの値です。